



RIテーマ

## Weekly Report

クラブ会長  
テーマ

心のふれあいを求め 和の中から行動を

2001-3-9 第500回例会 NO.11-33 2001-3-21 発行

2000～01年度

国際ロータリー第2750地区

地区大会

新高輪プリンスホテル [飛天]

◎ 司会

高橋 成樹

松島美知子

◎ 点鐘

ガバナー

川尻 政輝

◎ 国歌斉唱 ソングリーダー 坂本博士

米国 (サイパン) 坂本秀明 権藤祐子

インド 斉藤紀子 坂本教子

ミクロネシア連邦 ピアノ 森園直子

パラオ共和国

日本

ロータリーソング「我等の生業」

◎開会のことば 大会実行委員長 村田英憲

◎RI会長代理並びに来賓紹介 ガバナー川尻政輝

RI会長代理の現在の職業及び経歴紹介

その他の役員紹介

◎参加クラブ紹介

地区外クラブ

地区内クラブ

◎表彰並びに新世代紹介

R財団メジャードナー表彰

米山記念奨学会特別表彰

紹介

GSE, R財団奨学生, 米山奨学生,

ローターアクト, 青少年交換学生,

◎ガバナー挨拶 ガバナー 川尻 政輝

ロータリーの歴史文化が21世紀に引継がれるにあたりロータリーに今何が出来るかを考えると大切なことは

1. 各クラブの自主独立
2. 新入会員の教育訓練制度の確立
3. 会員増強及び退会防止
4. ロータリーのイメージが地区社会に認められる様な取組み
5. 地区のリーダーシップを地区のなかに定着させる

と言う様な事でわないかと言う趣旨のお話がありました

◎RI会長代理挨拶 RI会長代理 O.P.ヴァイシュ  
ロータリーのありかたについてグローバルな考えを持つたうえでの地域社会中心の行動を考えR財団の  
人道的プログラムに進んで参加して欲しい.又世界  
中の地区大会に参加しているが地区大会とわと思えない  
素晴らしさに驚くと同時に暖かい歓迎に感謝申し  
あげます。

記念特別講演 「世界の中の日本」

講師 曾野 綾子

小説家とは小さな事を説く人と言う事で大きな事をい  
うと嘘になる。日本の海外援助でNGO, ODA, などの  
組織があるが大半のお金は末端の本当に必要としてい  
る人々に届かず途中で消えている。援助で大切な事は現  
場からの請求を直接受けた物資などで直接渡すと言うこ  
とだと思ふ。人を助けると言う行為は善意を持った人が  
一人一人行い特定の人が独り占めにして行うことは良く  
ない。すなわち多くの人で助け合うのが妥当な世界だと思  
ふ。私の行っているNGOの組織にはランニングコスト  
が殆どかからないのでいかなる不況でも寄付は減らな  
い。電話代その他も各自持ち会食なども安いおでんにお  
新香ごはんとする感じ。現在109ヶ国程訪問しているが  
紛争は水の極度に不足している所で発生している。水の  
有るところには例えばバナナは生えるし飢餓の心配がな  
い。世界の民族の考え方の違いもおおいに理解しないと  
いけないと思ふ。例えば船が遭難して漂流しているとす  
る。日本人だったら飲み水が少なかったら先ず子供に飲  
ませ次に女性に飲ませ男は最後まで我慢する。状況によ  
ってわ先に死ぬだろう。ところがアラブ人の考え方はま  
ったく違う。アラブでは強い者を残すため先ず強い者  
から飲み弱いものは淘汰される。すなわち子孫繁栄のた  
めである。また日本人のヒューマニズムから来る識字教  
育の大切さ文化の違い現在でも電気のない生活をしてい  
る人が全世界人口の1/3約20億人位います。電気が使  
えるといっても日本のように1日中使える国は少なく殆  
どが1日おきとか1日何時間と言う状態です。面白い事

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号  
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491  
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】津守弘範【幹事】伊澤ケイ子【委員長】杉山英巳【副委員長】由井真司

【委員】菊池 敏・北村幸彦・永井峰子・根本泰守・藤原正範

は電気と民主主義は不可分の関係にあり電気の無い国裡族長支配となってるそうです。例えばこの会場が停電になったらホテルのかたの指示に従うでしょう。安全に対する考え方の違い他国では警官と犯罪者ぐるの場合も多い相手の立場を思いやりという気持ちが無いと教育はできない。原子爆弾も造れITもある国は後進国を助ける義務がある。智慧を愛する。敵を愛する。理性のため、楽しくやっているのならNGOなどやめたほうがいい。奉仕というの汚濁物を平気で処理できるかと言うのが本来の姿教育とはその表裏をはっきり理解すること。自由と言うのはしたい事をするのではなくてすべき事が出来る事で、勇気をもって行動をする人徳のある人だともいます。

特別記念講演

「大激流に立ち向かう日本人の意識改革」

講師 ジョージ・フィールズ

革新と改革ということで 1964 年には日本人の海外旅行者は 25 万人にすぎなかったが現在は 1000 万を越えている。やっと日本人も市場は人なり人で市場はできていると気が始めた様、日本では 1985 年を境に消費者の考えが変わってきた。円高の始まりと同時に 25 歳~30 歳の未婚率が、15 年前の 4 人に 1 人から 2 人に 1 人とかわってきた。また英訳の仕様もない、新人類と言うような新語がでてきた。若い人の考え方は違うとってとらない会社は衰退し積極的にとっている会社は成功している。過去は参考にすがこだわらな、情報は持っているだけでは意味がない利用しなければならぬと思う。1985 年資本移動がおきた海外生産、ウインブルドン現象、シリコンバレー、など他民族を受け入れた典型的な現象で、資本が動けば人は動く。IT 革命も資本主義も北欧より発展識字率も北のほうが高いインタアーネットの概念が地域的な物の崩れを起し多質性違った考えの人が集まって研究するアメリカ。固定資産から知的資産に移っているアメリカでは 90% が 500 人以下の中小企業となり大企業は減っている。未来の考え方として、移動性、迂回性、同時、性多質性を重要な柱と考えてゆきたい。

◎点鐘

ガバナー

川尻 政輝

【担当者の感想】

素晴らしいお2方の講演を拝聴させていただく機会に恵まれた事を感謝しております。曾野先生の印象ですが以外と日本の保守的な考えに裏打ちされた話有名な銀行のMOF担等あったほうが良くて、世の中風波を立てずに廻るのが良いのでわかないかという考えの方と思いました。一方のフィールズ先生のお話外人らしく現状の日本の世の流れ肯定的にとらえられている様ですがの我々熟年世代にはついていけないかなあと言う感情が残るのわ止むを得ない事でしょうか。いずれにしても大変勉強させていただいてありがとうございました。

(今週の担当 根本 泰守)

【委員会報告】

◎出席報告

会員総数 43 名  
出席義務者数 41 名 (出席免除者 2 名)  
出席者数 22 名  
欠席者数 19 名 (事前 MU 無)  
出席率 53. 66% (22 / 41)

2 / 21 最終訂正出席率 90. 24%

欠席者：大松 誠二、遠藤 二郎、藤本 吉文、  
藤原 正範、福島 達也、萩生田茂夫、  
桧垣 昭、猪股 末男、伊藤 英也、  
北村 幸彦、小泉 博、小城 章員、  
宮本 誠、永井 峰子、佐伯 和廣、  
須藤 起雄、杉山 英巳、高橋 正晴、  
高野 範城

補填 MU：大松 誠二 3/15 東京稲城 RC  
小城 章員 3/13 東京多摩 RC